

学生各位

北大元気プロジェクト2014（第1回目）の採択について

このことについて、以下のとおり採択しましたので、お知らせします。

No.	プロジェクトの名称	目 的	代表者氏名
1	Wheelmap Project	既存のバリアフリーマップの情報鮮度の低さ、包括的な利用の不便さを踏まえ、それらを解決することを目的とする。そのためにバリアフリーマップを目的とする「Wheelmap」というアプリ利用を提案するものである。	国際広報メディア・ 観光学院 修士課程2年 南 亜太良
2	北大生の「国際生体分子デザインコンペティション（B I O M O D）への参加」	B I O M O Dに参加することで、①研究プロジェクトのマネジメントを含め、実戦から情報発信まで個人・チームとして活躍できる人材の育成と創出を目指す。さらに、大会で要求される英語でのプレゼンテーションを通して、②学術英語の聞き取りおよび発話技術を習得する。③学部生のうちから国際感覚を身に付けることを目的とする	理学部 2年 山田 真司
3	北大自然体験プロジェクト	都市部の子供達に、身近な自然の中で遊ぶ機会を提供し、森林などの自然とのかかわりに関心を持ってもらうきっかけをつくる。	農学部 3年 豆野 皓太
4	アルコール問題対策委員会	北海道大学では急性アルコール中毒による死が繰り返されている。この悲劇を繰り返さないように対策をしたい。アメリカではアルコール関連問題委員会が多くの大学に設置されている。この取り組みを日本でも取り入れ、北大に定着させていく。	医学部 4年 新藤 利一
5	第3回僕らの歩行祭 ～夜のピクニック～	60kmの距離を2日間かけて北海道の学生150人で約24時間かけて歩き、”歩く”ということ自体の楽しさやすばらしさを感じてもらう。各々の夢や目標あるいは日常の自分を語り合い、新たな日々へのきっかけを見つける場を提供する。	工学部 2年 新谷 研人
6	北大金葉祭	①北大の景観を楽しみに来た観光客や市民に、景観をさらに魅力的に感じてもらうこと、②北大生と交流を行うことで、北大にさらに親近感を持ち、好きになってもらうことを目的とする。	文学部 2年 永井 舜
7	北大生による「生物ロボットコンテスト」への参加	「生物ロボットコンテスト」（iGEM）に参加することで、研究活動をするうえで必要な実験技術やマネジメント法、国際交流を通じた英語によるグローバルな発表方法を学部生という早期段階で習得することを目的とする。	理学部 3年 納田 遼太郎
8	東北応援プロジェクト	長期にわたって必要とされる震災復興に携わってもらう機会を提供するため、震災支援についての正しく具体的な情報を広く提供すること、被災地としての面だけでなく、日本の歴史ある地としての魅力を知り、東北を長く応援する人を増やすことを目的とする。	農学部 3年 有坂 紀子
9	CLARK THEATER 2014	①学生のキャリアアップ、②大学と地域とのコミュニケーション促進、③映像産業、映像教育への寄与を目的とする。	文学部 3年 半澤 麻衣
10	北大カフェプロジェクト	「人と人を繋ぐこと」を目的とし、北大構内および札幌市都市部を中心に、コミュニケーションスペースとしてのカフェを、設置場所をイベントごとに変えながら展開する。	文学部 2年 宮上 典子
11	ビブリオバトル北大予選会	①学生主体で開催することで、本の魅力を学生から北大生や地域に発信していくこと、②北大生と地域の方々が本を通じた交流をすること、③北大生にとっての北大図書館のイメージアップを図ることを目的とする。	教育学院 修士課程1年 蒔苗 詩歌
12	北水生が社会に発信！ 「津軽海峡でクジラと海を学ぼう！」	これまでの鯨類目視記録を地域へ発信することを目的とし、①津軽海峡フェリー内でのワークショップ、②小学校への「出前授業」、③パンフレットの配布を行う。	水産学部 4年 本間 総悟